

◆特別表彰◆

●●金章●●

ふる里の民謡を 活かして五十五年!

大分県大分市

松井 猛



この度、令和二年度特別表彰金章の栄誉を賜り、誠に光栄でございます。国選択無形文化財「鶴崎踊り」保存会に二〇歳の時に入会し、以後、大分県民謡研究会「萬謡

●●金章●●

善行金章を 受賞して

宮城県登米市

千葉 源治



この度、栄えある特別善行表彰金章の栄を賜りました。大変光栄であり多くの皆様のご協力のおかげと心より感謝と御礼を申し上げます。

會」に所属して県民謡の発掘・普及活動を続けて来ました。これまで培った経験を活かし、平成五年一月「少年少女民謡合唱団」を立ち上げ、民謡を通して子供たちに「先人たちの心」を学んでもらう為、津留公民館で開設。平成十四年から大分市教育委員会主催「伝統芸能ふれあい教室」(和楽器体験学習)の出前授業を十七年間、開催。さらに高齢者「声出し健康民謡講座」を各地区の公民館、老健施設等で行い高齢者の健康寿命を延ばし、笑顔溢れる人生を送れるようサポートする事業を展開しています。この度の受賞を契機にさらに精進を重ね独自性に富んだ活動を推進して社会貢献に繋げて行きたいと思っております。

●●銀章●●

善行銀章を 受賞して

静岡県浜松市

長谷 勇



この度は、栄えある善行銀章を賜り心より御礼申し上げます。

として書道、詩吟、菊作り、盆栽、短歌会と誘われるままに会員の皆様と共に、楽しみながら長い間過ごして参りました。しかし寄る年波には勝てず重い物を持ち運び困難になり、現在は、詩吟会、三会場(週三回)、短歌会(月一回)、書道会(毎日夕食前)。白寿に近い身となり、家族に送られながら続けているこの頃です。

一、今の自分に感謝し、自分の合う趣味を持つ言葉「座右の銘」とし残りの人生をおくりたいと思っております。

この度の栄えある善行金章をいただきました事、皆様のご指導の賜物と感謝し、和顔施の心で毎日をおくりたいと思っております。ありがとうございます。

私は教職を定年退職し、保護司の命を受け二十年、老人会のお世話十年余りその傍ら、趣味

ふる里自慢

岩手県支部

私の住んでいる岩手県大槌町吉里吉里地区を紹介いたします。

大槌町の中心部から約2km北上した岩手県沿岸南部と沿岸北部の境に六七〇世帯、人口一七〇〇人の小さな集落(漁村)です。「きりぎり」と言う地名の由来は昔からアイヌ語で、白い砂浜



が広がる地区と言う意味であると古老達より言い伝えられてきました。その名の通り石英質を多く含んだ白い砂は裸足で散歩するとキュキュッと音がする鳴き砂の特徴があります。また、大槌町は陸中海岸国立公園の中央に位置する風光明媚な地域でもありまして今の時期は新緑の山々と青い海の色が鮮やかなコントラストを描いて心休まる感じがします。二〇一一年三月に発生した「東日本大震災」では大きな被害を受けましたが、全国の皆様から物心両面にわたるご支援をいただき、九年三ヶ月を経た現在、地域住民は、震災前の「生業(生活)」に戻りつつあります。私達の地域



で自慢出来るものは、春先に収穫する三陸「ワカメ」です。栄養豊富な内海で育てた「ワカメ」は歯ごたえの良さ、味は格別で贈答用品として多くの方々から重宝されております。初夏になりますと「ウニ」漁が始まります。エサの海藻が豊富な時期のウニは味も美味しく、食堂や寿司店・料亭に高値で販売取引されて需要が旺盛となります。秋から冬にかけては、定置網による「秋サケ」漁

支部だより

大分県大分支部

福祉施設を芸能慰問

去る三月に令和元年度最後の福祉施設の芸能慰問と計画して、新型コロナウイルスの全国的感染者の増加という思わぬ事態が発生したため、やむを得ず中止しました。

支部の芸能奉仕は毎年、春と秋の両時期に芸能奉仕団を編成して、福祉施設を芸能慰問することを恒例としています。令和元年度は慰問受け入れ希望施設が多く、



七月に二か所の慰問をして、入所者と楽しい交流をしました。

七月二十三日(火)に地域定着型特別養護老人ホーム、十月四日(金)にグランドホーム祥雲

善行川柳

選者 東 逸平

〇コロナ禍で 出るに不出られぬ 籠の鳥
北海道 齊藤 勉

評/籠の鳥は外に出られない運命を宿しているから、籠の鳥なんです。外に出なければ生きていけない事象に目を移して考えましょうか。《コロナ禍で 犬が遠吠えするお部屋》なんてね。

〇洗濯機 友と相乗り 節水し
東京都 神鳥谷知己

評/コロナ禍のこんな時に、停電になったらどうしよう。夜は暗いぞ、水は出ないぞ。知り合いの隣のひとと一緒に入れて、節水が出来るぞ!

〇慰問準備 コロナウイルス 後に備え
大分県 佐藤 満洋

評/《慰問準備 コロナウイルス》そこで文字を切っています。空白にしないで《慰問準備コロナウイルス後に備え》でいいんですよ。今では《慰問》という言葉は、施設等では使われないんですね。《訪問》と言っています。それにしても、コロナ対策の緊急事態はいつまで続くのでしょうか。

入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ、明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- ①普通会員(正会員)
 - 個人 年額 五千元
 - 法人 年額 一万円
 - ②特別会員(正会員)
 - 個人 年額 一万円
 - 法人 年額 三万円
 - ③賛助会員
 - 個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間購読料五百円含む